

夢つむぐ島 未来につなぐ久米島らしさ



第3次久米島町総合計画

基本構想・前期基本計画
第3次久米島町総合戦略

2026
令和8年



2035
令和17年

町長よりご挨拶

～ 夢つむぐ島 未来につなぐ久米島らしさ ～

久米島町では、平成28年度から令和7年度までの10年間を計画期間とする「第2次久米島町総合計画基本構想」（以下「第2次基本構想」という。）のもと、総合計画と総合戦略の目指す方向性が同一であることを踏まえ、令和3年度から令和7年度までの5年間を計画期間とする「後期基本計画」及び「第2次久米島町総合戦略」を統合した計画を策定し、各種施策を推進してきました。

第3次久米島町総合計画においても、行政改革大綱の実効性を一層高めるため、これらを統合するという考え方を前計画から継承し、本計画を策定することといたしました。

本町は、豊かな自然、先人から受け継がれた伝統文化、そして海洋深層水をはじめとする独自の資源に恵まれた「球美（くみ）の島」として歩んでまいりました。しかし、現在、私たちは人口減少や少子高齢化、産業構造の変化、さらには地球規模の環境問題等、多くの喫緊の課題に直面しています。

このような大きな時代の転換期において、本計画は「対話と協働」を軸に、住民の皆様とともに知恵を出し合い策定いたしました。私達は、この島に生きる一人ひとりが、将来にわたって「この島に住み続けたい」「この島で子を育てたい」と心から実感できる社会を築いていかなければなりません。

本計画では、持続可能な島づくりのため、基幹産業である農林水産業や観光産業の振興はもちろんのこと、デジタル技術の活用による生活利便性の向上、そして何より次世代を担う子ども達の教育環境の充実に重点を置いています。久米島の最大の財産は「人」です。多様な個性が尊重され、誰もが役割を持って輝ける「共生社会」の実現を目指します。

計画の実現には、行政の力だけでは限界があります。住民、企業、行政が互いに手を取り合い、島全体がひとつのチームとなって進んでいくことが不可欠です。本計画が、皆様の暮らしの中に希望の灯をともし「生きた計画」となるよう、私自身が先頭に立って邁進する所存です。

結びに、本計画の策定にあたり、貴重なご意見、ご提言を賜りました町民の皆様をはじめ、久米島町振興計画審議会の皆様ならびにご尽力いただいた関係各位に深く感謝申し上げますとともに、今後も久米島町の発展のため町民の皆様の一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



令和8年3月
久米島町長 桃原 秀雄

目次

I. 基本構想

1. 島づくりの将来像	04
2. 島づくりの基本目標	04
3. 将来フレーム	06
4. 島づくり構想図	08
5. デジタル構想	10
6. 総合計画のしくみ	11

II. 前期基本計画【総合戦略】

1. 前期基本計画施策体系	16
2. リーディングプロジェクト	19
3. 基本施策	33
4. 目指そう指標一覧	84

III. 行革大綱

行財政経営のこれからの取組	92
1. 社会の変化に対応できる組織づくり及び人材の育成による住民サービスの向上	94
2. 行政のデジタル化による住民サービスの向上	96
3. 持続可能な財政運営	98
4. 公共施設マネジメント	100

IV. 参考資料

1. 計画策定の経過	106
2. 久米島町振興計画審議会 名簿	107
3. 計画策定フロー	108

◆コラム みんなで考える久米島らしさと島の未来

みんなで作った「道しるべ」	02
「久米島らしさ」って、何だろう？	12
子ども町長の島づくり	13
久米島の光と影	14
住民が語る「久米島らしさ」	18
子育ての「リアル」と「未来」	30
産業の壁を越えろ！産業間連携の未来	31
中学生が描く！久米島の「未来地図」	32
久米島ビジョンラボ結～島ぬ3時茶あ会議～	88
町民のホンネ！住民アンケート結果概要	102
子どもたちの声！中高生アンケート結果概要	104

久米島らしさって何だろう？

グスク時代以降、航路の要衝として船舶の往来を支えた久米島
織り機や木槌の音、泥や草木の香り、風になびく久米島紬
伝統的な屋敷やフクギ並木によって形成される集落景観
島の豊かな森林や河川に生息する多様な生き物たち
絶景が広がる白い砂浜やビーチ
豊富な水資源に育まれた稲作（棚田）やサトウキビ畑
豊かな海域を活かした水産業と海洋深層水事業

伝統行事や地域のお祭りで賑わう島人の真剣な顔・笑顔

・・・And more・・・

これらは、久米島を説明する上で欠かすことのできないものです。

地域らしさとは、自然環境の上に人々が暮らし
自然の恵みを楽しみ生活や生業が文化的に発展しながら形成するものです。

地域で暮らす人々は、暮らしの風景に、目に映る一瞬の姿だけではなく、
そこで積み重ねられてきた多くの出来事を見ている。

しかし、それは住んでいる人々にとって当たり前なこと、語ることはありません。

このことに気づき、目に映る姿だけではない地域の営みに目を向け、

“地域らしさ”を再確認することが重要です。

(参考8 文化的景観スタディーズ01 地域のみかたー文化的景観学のすすめ／文化的景観学校検討会)

久米島らしくあり続けるためには、
何を大切に守っていくべきだろう？
どんなことを変えていかなければならないだろう？

久米島らしく輝く未来に向けて、
これまでの島の歩みを振り返りつつ、これからの島づくりを進めます。

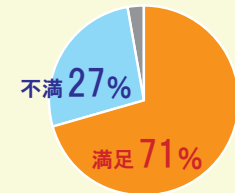
みんなで描いた「道するべ」

第3次久米島町総合計画は、行政だけで作ったものではありません！「未来の久米島」という目的地に向かって、誰もが迷わず進んでいける確かな「道するべ」をつくるため、主に5つのアプローチで多様な住民の皆様の声を拾い集め、議論を重ねてきました。それぞれの取り組みが、計画づくりにおいてどんな役割を果たしたのかをご紹介します！

住民アンケート（広くホンネを客観的に把握する役割）

全世帯を対象に、皆様の満足度や未来への意向を数字で客観的に把握する役割を担いました！たとえば「地域での暮らしにどの程度満足していますか」の問いには約71%の方が満足と回答しました。様々なアンケート結果は、各施策の方向性を決める重要な土台となりました。

地域での暮らしの満足度



各種ワークショップ（本音で語り合いアイデアを生む役割）

アンケートの数字だけでは見えない「リアルな声」を拾い上げる役割です！中高生、子育て中のママさん、経済団体など、立場ごとに集まりました。専門家の話を聞いたり、「どうすればもっと島が良くなるか」をワイワイと本音で語り合い、そこから生まれたワクワクする解決策を、具体的な施策のアイデアへと練り上げました。



パブリックコメント／住民説明会（計画案を磨き上げる役割）

できあがった計画（案）を皆様に広く公開し、最終的な意見をいただいて計画を磨き上げる役割です！説明会での直接の対話に加え、WEBフォーム、役場やほんのもりで公表し、意見募集を行いました。下水道の整備や産業間の連携強化など、寄せられた生活に密着した鋭い意見をしっかりと計画に反映させました。



振興計画審議会（専門的な視点で客観的に審査する役割）

学識経験者や各分野の代表者など、専門的な知見を持つ委員が、計画全体を客観的にチェックする役割を担いました！町長の諮問を受け、皆様から集めた意見やアイデアが、実現可能で偏りのない計画として正しくまとめられているかをしっかりと審査し、計画全体の妥当性を確認しました。



職員ワーキング（職員が行政の未来を描く役割）

将来の町政を担う職員も大活躍しました！最新の知見を学び、職員自らが進行役となって本音で熱く議論する「島ぬ3時茶あ会議」を開催。現場のリアルな困りごとや行政DXによる業務改善、そして「どうすれば住民の皆様と一緒に島づくりを進められるか」といった、柔軟で具体的な施策のアイデアを計画に落とし込む役割を果たしました！



1. 基本構想